

# JSA 神奈川支部通信

No. 12 December 2024 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP：<https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail：[jsa.kanagawa@gmail.com](mailto:jsa.kanagawa@gmail.com)

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

## この号の目次

- ◆ 第 25 回総合学術研究集会「平和で豊かな地球を子や孫に」のお知らせ 25 総学実行委員会
- ◆ JSA かながわ「秋の研究交流会」20 人が参加して開催 支部事務局長 飯岡ひろし
- ◆ 神奈川 4 区市民連合の歩みと第 50 回衆議院選挙の結果について 後藤仁敏
- ◆ かながわ憲法フォーラムが「2024 憲法を考える 11.3 県民集会」を開催 後藤仁敏
- ◆ 市民の市長をつくる会第 47 回定期総会の報告 後藤仁敏
- ◆ 国会議事堂の外装に使われている瀬戸内の花崗岩 浜田盛久
- ◆ 追悼：地質学から経済学に転じた工藤晃さんを偲ぶ 後藤仁敏
- ◆ 現在進行中の 2 つの苦難（つれあいの脳内出血と自宅を襲った土砂災害） 北山宏之
- ◆ 本の紹介：『図説 歯からみた生物の進化』（後藤仁敏著、朝倉書店） 惣田昱夫

## 平和で豊かな地球を子や孫に伝えるために、25 総学のお知らせ

### 第25回総合学習研究集会実行委員会

**25総学への参加のご案内：**参加申込みは、JSAウェブページ (<http://www.jsa.gr.jp/>) で案内します。JSAウェブページから25総学のページにすすみ、ウェブフォームに記入して参加登録をしていただきます。右のQRコードからも入ることができます。



**参加登録締め切り：**11月16日（土）17時（これ以降にご登録いただいた方には、Zoom接続情報等のご案内が遅れる可能性があります）

**25総学予稿集の入手方法：**予稿集はPDFで発行します。予稿集はPDFでのみ発行します（11月1日を予定）。印刷体は発行しません。予稿集（PDF）のダウンロード方法は、参加登録者に連絡します。参加者はそれぞれ予稿集（PDF）をダウンロードして入手ください。参加費は無料ですが、募金にご協力ください

**募金についてのお願い：**オンライン開催とする25総学では、現地開催に要するさまざまな費用を削減できるため、参加費は無料とします。通信費、印刷・宣伝費等は、JSA全国の25総学予算とみなさまからの募金でまかなう予定です。別途お願いする募金にご協力ください（1口1000円、目標総額25万円）。募金は、同封の郵便振替用紙を使って郵便振替口座からお願いします。振込先は、以下のとおり。募金の期限は、11月22日（金）とさせていただきます。加入者名：日本科学者会議 口座番号：00180-8-86906 なお、ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込まれる場合は、以下の口座をご利用く

2024年11月23日(土) ~ 12月8日(日) オンライン開催  
11月23日(土) 09:00 - 13:15  
基調講演 13:15 - 14:30  
「人間の進化史と現代社会 ―現代社会は覚悟したが、そこには身の軀もあまる―」  
[後藤仁敏] 総務次長(経済学博士・理学博士)

全体集会 14:30 - 18:00  
「科学者志願としての予稿発表と市民科学―社会課題の解決とJSAの活性化の相乗効果へ―」  
中塚浩行(名古屋大学)  
「JSA 学際研究・市民科学発展プログラム」が目標のもの  
[後藤仁敏] (元大阪大学)  
「これまでJSAにおける市民との連携の歴史―公営問題、とくにイタイイタイ病を中心に―」  
[小笠原] (大阪大学)  
「ラヂオサイエンスの再興―問題」

＊参加申し込み方法＊  
裏面1面に記入の上 FAX してください  
下記 Google フォームからお申し込み  
<https://forms.gle/3Y0e3NS639KIP90UA>

日本科学者会議第 25 回総合学術研究集会実行委員会  
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 HYビル(湯島ビル)9 階  
Tel/Fax: 03-3812-1472 E-mail: 25ao-gaku@jsa.gr.jp

ださい。 ゆうちょ銀行 店番019 当座0086906 口座名：日本科学者会議 参加費無料を活用し、関心のある非会員も含む様々な人々を気軽に誘って下さい。また、各支部の会議室や会員の研究室・自宅などでネット環境のある場所に複数名が集まれる場合は、複数名で1つのPCを共用して参加する方法も考えられます。オンライン会議に不慣れな人も参加しやすく、お薦めです。

### 全体会・分科会日程

月/日(曜日)	9:30～12:00	13:00～15:30	15:45～18:15	18:30～21:00
11/23(土)		開会式・基調講演・全体集会		G 2
11/24(日)	B 3	B 3・C 3・E 2	B 1	B 1
11/30(土)	B 6・D 3	B 2・G 3・B 5	B 2・E 1・B 5	B 5
12/1(日)	B 4・E 3	C 4・D 1	A 3・F 2・D 1	A 3・F 3
12/7(土)	C 1・G 4	A 1・F 1	A 1・D 2	C 2・D 2
12/8(日)	A 2・G 1	閉会式		

### 全体企画

11月23日(土) 開会式・基調講演・全体集会(13～18時)

開会式 13:00～13:10 あいさつ(松田正久・25総学実行委員長)

基調講演(座長：石井 潔・静岡支部)

13:15～14:30(講演：60分、質疑：15分) 長谷川真理子(日本芸術文化振興会理事長、総合研究大学院大学前学長)：人類の進化史と現代社会—現代社会は発展したが、そこには負の側面もある—

全体集会 科学者運動としての学際研究と市民科学—社会課題の解決とJSAの活性化の同時達成へ(座長：中塚 武・愛知支部)

14:40～15:20(講演：30分、質疑：10分) 中塚 武(名古屋大学)：「JSA学際研究・市民科学発展プログラム」が目指すもの

15:20～16:00(講演：30分、質疑：10分) 畑 明郎(元大阪市立大学)：これまでのJSAにおける市民との連携の歴史—公害問題、とくにイタイイタイ病を中心に—

16:10～16:50(講演：30分、質疑：10分) 中村征樹(大阪大学)：シチズンサイエンスの可能性と課題

16:50～18:00 総合討論

12月8日(日) 閉会式(13時～)

13:00～13:15 25総学のまとめ(松田正久・25総学実行委員長)

### 分科会の案内

A 戦争のない平和な時代を拓く

A1 平和問題分科会 12月7日(土) 13:00～18:15

A2 九条改憲の動向の多角的検討：九条科学者の会19周年の集い 12月8日(日) 9:30～12:00

A3 米日のグローバルパートナーシップの構築と世界の戦争に抗する平和の理論と運動を語ろう  
12月1日(土) 15:45～20:00

B 地球環境の危機的状況の克服、原発問題の解決、防災・減災、災害復興

B1 PFAS(有機フッ素化合物)汚染を考える 11月24日(日) 15:45～20:15

B2 気候危機に立ち向かう—自然エネルギーと省エネの社会に向けて 11月30日(土) 13:00～18:15

B3 脱原発への課題と展望 11月24日(日) 9:30～15:30

B4 地域社会から考える能登半島地震復興 12月1日(日) 10:30～12:30

B5 リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流 (part 8) 11月30日(土) 13:00~20:10

B6 風力発電の課題を考える 11月30日(土) 9:30~12:00

### C 人間らしい労働、暮らしを守る経済、地域社会の再生

C1 群馬県に居住する外国人が抱える諸問題—多文化共生社会・移民社会の実現可能性 12月7日(土) 9:30~12:00

C2 新型コロナウイルス感染症の現状と今後に向けての課題 12月7日(土) 18:30~21:00

C3 AIの進展と企業経営・働き方 11月24日(土) 13:00~15:30

C4 高齢者福祉の現状とこれから~介護福祉学への展望 12月1日(日) 13:00~15:30

### D 科学・技術の現状批判と課題

D1 科学技術の現状批判—日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part16 2024年12月1日(日) 13:00~18:15

D2 科学・技術サロン—日本の科学・技術の現状とロマンを語る part 17— 12月7日(土) 15:45~19:30

D3 自然科学の進展を俯瞰する 11月30日(土) 9:00~12:00

### E 学術研究体制の危機と大学・研究機関、研究者の権利・社会的責任

E1 いま改めて研究者の権利・地位と倫理を考える 11月30日(土) 15:45~18:15

E2 高等教育政策の現状分析とその改革の方向性 11月24日(日) 13:00~15:30

E3 高等教育「無償化」の現在地—誰もが安心して学び続けられる社会に 12月1日(日) 9:30~12:00

### F 個人の尊厳、ジェンダー平等、多様性の尊重

F1 フェミニスト・エスニック・スタディーズと DEI(Diversity, Equity, and Inclusion): 平和に必須の多様性と公平性と包摂 12月7日(日) 13:00~15:30

F2 不登校・社会的ひきこもり 12月1日(日) 15:45~18:15

F3 学習権を問う~様々な学びからの検討 12月1日(日) 18:30~21:00

### G 市民社会その他

G1 市民と科学者を結ぶ雑誌『日本の科学者』の歴史的役割と展望 12月8日(日) 9:30~12:00

G2 二次元から「世相」をつむぐ 11月23日(土) 18:30~21:00

G3 転換期の主体としての地域、地域住民を考える~その自由な学習と個性、主体性のあり方を問う 11月30日(土) 13:00~15:30

G4 アメリカの現状と今後を考える 12月7日(土) 9:30~12:00

## JSA かながわ「秋の研究交流会」に20人が参加して開催

支部事務局長 飯岡ひろし

日本科学者会議神奈川支部は10月19日の土曜日午後13時30分から17時まで、労働プラザにおいて研究交流会を開催しました。神奈川支部の研究交流会は、例年1月または、2月に会員内の研究会として開催してきましたが、今年の支部大会で、秋に環境問題をテーマにした研究交流会を、気候危機などの環境をテーマに企画し、幅広く市民の参加をえて開催することにしました。

そこで、静岡大学での原水禁科学者に私が参加したこともあって。研究交流会は核兵器廃絶をテーマに、東京工業大学名誉教授の山崎正勝さんに「核兵器廃絶への科学史、科学者そして市民の責任—『原爆の父』オッペンハイマーその栄光と没落から考える」と題して記念講演をお願いしました。昨年、映画「オッペンハイマー」はアカデミー賞を受賞して、アメリカではとくに多くの若者が見たといわれ、日本への原爆投下は戦争終結をはやめるためという世論に変化があるそうです。

日本では、広島、長崎の惨状が描かれないなどもあって賛否両論ですが、受賞後に各地で上映されるようになりました。

この映画には人類最初の核兵器を開発するマンハッタン計画を指揮し、実験を成功にみちびいたことから「原爆の父」と呼ばれるようになったオッペンハイマー、アイシュタイン、ローレンス、ボーアなど著名な科学者をはじめとして。登場人物は50人をこえる。さらに、第二次世界大戦の



図1 研究交流会の参加者の皆さん

連合国でありながらソ連とアメリカとの対立、科学界におけるアメリカ共産党の影響など、日本人にとっては決して分かり易いといえる映画ではないといえます。オッペンハイマーは水爆の開発には否定的で、それ故に科学界から追放されます。しかし、原爆の開発を否定した発言もありません。このような映画ですから、その解明がテーマの一つでした。

そこで、東京工業大学名誉教授で、核兵器開発について科学史的な著作のある山崎正勝さんに講師をお願いしました。山崎さんは東京支部の会員ですが、理学博士、科学史、社会科学史を専門としています。『学習の友』7月号に「オッペンハイマーと阻止できなかった核兵器競争」という論文を掲載されています。

会員の研究発表は、有機フッ素化合物（PFAS）とは何か（惣田晃夫）、気候変動と海洋環境（中野広）、『図説 歯からみた生物の進化』の苦労ばなし（後藤仁敏）と環境をテーマにした多様なものでした。

支部ではJSA東京支部、日本環境会議、かながわ総研、県自治体問題研究所、県平和委員会などの諸団体にご協力をお願いし、チラシ200枚を会報に同封するなどして、ひろく参加を訴えました。当日は、岸田首相にかわる自民党総裁選で、早期解散を否定した石破首相が、国会での首班指名後に早々に解散したため、衆議院選挙の最中となってしまい、どの程度の参加があるか危ぶまれましたが、県内外の会員や、多くの非会員もふくめ、20人が集まりました。支部主催の行事としては、近年にない人数で、成功裏に終了しました。また、会場費を募金でまかなうこともできました。今回の研究交流会は新しい企画でしたが、支部としてはいろいろと学ぶところがありました。

記念講演、研究発表の内容については、次号にて報告します。なお、すでに今回の支部通信では発表を予定した北山宏之会員が、この紙面で報告されています。ここに、あらためて皆さんのご協力に感謝します。

## 神奈川4区市民連合の歩みと第50回衆議院選挙の結果について

後藤仁敏

### はじめに

2024年10月27日の第50回衆議院選挙は、これまで「安倍一強」といわれた体制が崩れ、与党である自民・公明両党の過半数割れが起り、立憲民主党やれいわ新選組が議席を伸ばした。これは「しんぶん赤旗」がスクープした自民党の主要派閥である安倍派、二階派などが政治資金パーティーを利用して18億円弱を裏金にし、約100人の国会議員らが5.8億円以上の裏金を手にした政治資金規正法違反事件に対する国民の怒りの発現であった。朝日新聞が1月20日に「組織性、継続性、故意性の観点で、戦後政治の中で最大の不祥事だろう」と指摘した。安倍派だけの問題ではなく、20年以上前から多くの派閥で行われていたことだ。裏金事件は、中央から地方まで自民党の

組織的犯罪である。

今回の選挙で、自民党は裏金問題への対応として候補者 10 人を「非公認」としたが、選挙終盤にそれら候補者支部への 2000 万円の資金供与も「しんぶん赤旗」がスクープし、これに対しても国民が怒ったことも野党に大きな風を吹かせた。しかし、その恩恵を受けたのは主に立憲民主党で、風を吹かせた日本共産党は票も議席も減らしたのは残念でならない。10 月 28 日の朝日新聞の朝日川柳に掲載された「赤旗のふんどし借りて勝ち戦」「共産党風を起こして飛ばされる」の 2 句は、みごとに今回の選挙の結果を表現したものであった。

しかし、裏金を得ていた議員 46 人中 18 人が再選を果たしており、選挙で禊ぎは終わったということは許されず、この問題の迫及は引きつづく課題となっている。また、安倍晋三元首相の殺害を記に明らかになった旧統一教会も影響を受けた議員も多く再選されており、いまだ多くの旧統一協会会員の秘書も残っており、日本は「サタンの国」であるとして日本人から法外な財産を巻き上げて韓国や北朝鮮に送っていた反日、反社会的な旧統一教会との関係についても引き続き迫及する必要がある。

この機会に、私が共同代表の一人を務める神奈川 4 区市民連合の歩みを振り返り、今回の選挙の結果についての思いを述べたい。

### 2017 年の第 48 回衆議院選挙

私は、2017 年 2 月に「4 区衆院選を考える会」に参加して以来、4 区（鎌倉市、横浜市栄区、逗子市、葉山町）内で市民と野党の共同を進めてきた。4 区の予定候補者であった民進党の早稲田夕季さんと、共産党の佐藤清さんからそれぞれ政策を聞く会を開催し、市民連合の広渡清吾さんを講師に、両候補も参加する集会も開催してきた。市民連合の共通政策で野党の共闘が実現する間際になって、民進党の前原代表は小池都知事と「希望の党」を立ち上げ、野党共闘が破壊されるという事態が起こった。私たちは絶望に追い詰められた。

しかし、最初にこの流れから外れた日本共産党と社会民主党が共同を結び、それに希望の党から外された枝野幸男さんらが立憲民主党を立ちあげ、野党共闘が再構築された。神奈川でも 12 区の阿部知子さんや 4 区の早稲田さんらが立民党に加わり、選挙で当選できた。希望の党は「絶望の党」に変貌した。

思えば、早稲田さんとの出会いは、2016 年 11 月早朝、本郷台駅であった。平和憲法をまもるという名刺を受け取り、民進党にもよい候補がいると感じた。ちょうど、早稲田大学に非常勤講師として授業に行く日で、早稲田大学に行く日に早稲田大学出身の早稲田さんとお会いしたのであった（といっても私が行くのは早稲田の早稲田ではなく、所沢キャンパスの人間科学部であったが）。

希望の党が立ちあがった時は、本郷台のあーすぷらざに前原代表が早稲田さんの応援に来るといので参加したら、前原氏は来ず、早稲田さんは民進党の公認候補から外されたことを憤慨しながらも、希望の党に入るよう手続きしたと語ったのに対し、私は「小池氏は核武装論者で平和憲法をまもる早稲田さんとは違う、希望の党に行っても早稲田さんの主張を貫いてほしい」と発言した。しかし、この時早稲田さんはすでに立憲民主党に加わることを決意していたようだ。

私たちは、共産党県委員会に 4 区における候補者の 1 本化を強く要請し、当時の田母神悟県委員長と中央委員会の判断で、実現できたことはいくら感謝してもしきれない。4 区の会は、立民党の早稲田さんと共産党の佐藤清さんと握手の会を開いた。ここで、佐藤さんは「私はただ早稲田さんに健闘していただきたくて降りたのではない。必ず勝利していただくために降りた」と語った。私たちは内心では 1 本化はしても当選は無理だろうと思っていたので、大変なことになったと感じた。そして、どんなことをしても当選させなければならないと思い、ポスター張りからチラシへの証紙貼り、公示日には鎌倉駅に応援に行き、夕方の逗子駅では応援弁士も務めた。私にとっては共産党以外の候補を応援したのは 2017 年の横浜市長選で伊藤大貴氏を応援して以来のことだった。

なお、共産党は多くの選挙区で候補者を降ろしたため、畑野君枝さんの比例での当選が危ないと聞き、早稲田さんの国政報告会での挨拶で、「共産党は4区をはじめ多くの選挙区で候補者を降ろした。比例といっても非礼をしてはいけない。支持政党のない方は、選挙区は早稲田と書いて、比例は共産党と書くのが礼儀にかなうのではないか。私は立民党の早稲田さんと共産党の畑野さんが一緒に国会で活躍してほしいと思います」と話したら、大きな拍手をいただいた。

結果は図1に示したように、早稲田さんが6.7万票で当選、次点は自民党公認の山本氏が5.6万票、3位は自民党員だが無所属の浅尾氏が5.2万票であった。しかし、山本・浅尾両氏の票を合わせると10.7万票あり、早稲田さんが勝てたのは自民党票が2分したからなのであった。

第48回(2017年)衆院選 神奈川4区 得票結果			
当	早稲田夕季(立民)	67,020票	34.80%
次	山本 朋広(自民)	55,700票	28.90%
	浅尾 慶一郎(無所属)	51,509票	26.70%
	風間 法子(希望)	18,288票	9.70%

図1 2017年の第48回衆議院選挙4区の結果

当選後に開かれた神奈川革新懇総会には、他の立民党議員は秘書か代読であったが、早稲田さんだけは自ら参加して、畑野さんと並んで来賓として挨拶して下さった。田母神県委員長にも宇都宮副委員長にも紹介することができた。

その後、私たちは、2019年の参議院選挙にも取り組むことになり、名称も「神奈川4区市民連合」に変更した。衆院選だけでなく参院選など、他の選挙にも取り組もうとの方針と、中央の「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」との共鳴によるものであった。

2019年6月には「参院選を勝利する4区市民集会」を開催し、市民連合の山口二郎さんに基調報告、立民党の牧山弘恵参院議員と共産党の浅賀由香予定候補に挨拶、真山勇一参院議員と早稲田衆院議員と共産党の畑野君枝衆院議員の国政報告をしていただいた。市民連合は野党4党1会派と13項目の政策協定を結び、32の一人区で統一候補を立てて10議席を獲得するという成果を上げた。残念ながら神奈川では牧山さんしか当選できなかったが、4区だけの票では、牧山さんは1位当選、浅賀さんも4位で当選圏内に入り、公明党の佐々木が5位という結果であった。私たちは、負けても自信を深めたのであった。

## 2021年の第49回衆議院選挙

2021年の衆院選に向けても、市民連合は6項目の野党共通政策に、立憲民主党代表の枝野幸男、日本共産党委員長の志位和夫、社会民主党党首の福島瑞穂、れいわ新選組代表の山本太郎の4氏が署名した。私たちは、9月25日に衆院選を勝利する神奈川4区市民集会を開催し、山口二郎さんに基調講演、早稲田衆院議員に国政報告、共産党の沼上徳光比例予定候補、社民党の佐々木克己神奈川15区予定候補、神奈川ネットの保坂れい子鎌倉市議、新社会党の手塚賢一県本部委員長、緑の党の石崎大望県本部共同代表に連帯挨拶をしていただいた。また、早稲田事務所からの希望で、4区市民連合から早稲田候補への推薦書を提出した。共産党は告示日間近ではあったが、早稲田さんはじめ立民党の現職の候補の多くを共同候補として応援すると発表した。

この選挙では浅尾氏の猛追を受け、一次は浅尾氏リードの情報もあったが、山本勝哉さんらの電話がけなどの奮闘により、3000票差で再選することができた。しかし、浅尾氏と山本氏の票を足すと11.1万票あり、早稲田さんの6.7万票ではとても及ばないことも明らかになった(図2)。この選挙で、立民党の候補者が多く当選したが、共産党の唯一の神奈川での議席であった畑野さんの議席を失ったのは実に残念なことであった。

第49回(2021年)衆院選 神奈川4区 得票結果			
当	早稲田夕季(立民)	66,841票	33.03%
次	浅尾慶一郎(無所属)	63,687票	31.47%
	山本朋広(自民)	47,511票	23.48%
	高谷清彦(維新)	16,559票	8.18%
	大西恒樹(無所属)	7,790票	3.85%

図2 2021年の第49回衆議院選挙4区の結果

しかも、2022年の参議院選挙では、松沢氏が横浜市長選に立候補したことで神奈川は定数5となったこともあり、私たちは立憲野党で2議席をめざ

したが、立民党は2名の候補を立て（途中で1名にしぼったが）、立民党の水野素子さんが3年任期の5位での当選という結果になった。実質的に真山勇一さんの議席を失う結果となった。しかし、4区だけの得票では、水野さんが2位当選、共産党の浅賀さんも5位当選で、前回の2019年同様、2名の当選であり、私たちの自信は揺るがなかった。

ただ、この選挙で、浅尾慶一郎氏が自民党公認で参議院議員に当選し、次回の衆議院選挙では4区は自民党候補が山本氏に1本化されることになってしまった。

しかも、その後、4区市民連合の共同代表であった上田義男さんと山本勝哉さんが相次いで亡くなり、葉山代表の山本さんの後任は野中康司さんに決まったが、逗子代表の上田さんの後任はいまだ決まっていない状況である。

## 2024年の第50回衆議院選挙

そんな状態で迎えた2024年の衆院選であったが、ともかく、4区内での市民と野党の共同を進めたいと、私たちは6月25日に「衆議院選を勝利する神奈川4区市民集会」を開催した。18区市民の会が「瀬戸際大臣」と呼ばれた山際大志郎氏を当選させまいと鈴木エイトさんの講演会を開催したのに学んで、基調講演を鈴木さんをお願いした（図3）。私が主催者挨拶をし、国政報告を早稲田さん、挨拶を共産党の畑野君枝比例予定候補、社民党の佐々木克己15区予定候補、れいわ新選組の三好諒2区予定候補（発言はなし）、新社会党の手塚賢一県連本部委員長、緑の党県本部の伊形順子さん、栄区革新懇の筒井完治さんに挨拶していただき、集会アピールを拍手で採択し、野中康司さんの頑張ろうコールで幕を閉じた。220人も集まり、資料が足りなくなってしまうほど、大成功をおさめることができた。カンパも7万円集まり、金欠状態を脱することができた。小堀事務局長の尽力の賜物であった。

ところが、立民党代表選に勝利した野田代表が「共産党とは同じ政権を担うことはできない」と発言したことを受けて、共産党が全選挙区で候補者の擁立をするとの情報があり、私たちは2017年と同様に、ふたたびあらゆる方法を使って県委員会に要請を行なった。幸い、早稲田さんが連合との確認書（共産党や市民連合とは共闘しない）を拒否しており、4区市民連合との深い関係があり、6月25日の集会には共産党の畑野さんも参加しており、相手が1本化して統一教会の山本氏になったこともあり、山本氏だけは当選させてはならないと、藤原委員長は強く中央に意見を述べてくださって、中央もそれを認めたのであった。藤原さんには深く深く感謝している。2021年は18選挙区のうち15で統一候補を擁立できたが、今回は20選挙区で、4区の早稲田さん（立民党）、11区の為壮稔さん（共産党）、15区の佐々木さん（社民党）、17区の佐々木奈保美さん（立民党）、20区の大塚小百合さん（立民党）のわずかに5つのみになった。3区市民の会の皆さんは、れいわ新選組の三好諒さんを統一候補にするよう運動したが、立民党と共産党からも立候補があり、共闘が実現できなかったのは残念であった。しかし、5つのうち3つで比例復活も含めて当選しているのは共闘の勝利と言えよう。

この選挙では、初めてであったが、早稲田事務所から選対への参加を要請された。10月11日の早稲田事務所主催の国政報告会は、6月25日と同様に熱気にあふれた集会となり、私も市民連合

**市民と野党が共同して 平和と暮らしを守る政治への転換を  
衆議院選を勝利する神奈川4区市民集会**

私たちは、2017年と2021年の衆議院選挙で、立憲野党と市民の共同によって、神奈川4区（鎌倉市・横浜市長区・逗子市・葉山町）から、地域のただ一人の国政への代表として、早稲田ゆきさんを国会に送り出すことができました。

いま、裏金問題に蓋をしたまま、岸田内閣による衆議院解散、総選挙が年内にも行われようとしています。浅尾氏が参議院議員になったことで、今回自民党候補者が1本化し、これまでない厳しい状況があります。しかし、「マザームーン」発言の統一教会ズブズの自民党候補を当選させることはできません。

旧統一教会による政界工作を長年取材してきた鈴木エイト氏から回教団による神奈川“汚染”などについて講演していただきます。市民と立憲野党の共闘を本格的なものに進ませ、前回を大幅に上回る得票を得て、私達の代表を必ず勝利させたいと願います。旧統一教会との癒着を断ち切れず、国民は大軍拡で大増税、自分たちは裏金で脱税の自民党政権を終わらせましょう。多くの皆様の参加を呼びかけます。

 鈴木エイトさん

 早稲田ゆきさん

 はたの君枝さん

 佐々木克己さん

 三好りょうさん

**基調講演：鈴木エイトさん**（ジャーナリスト）  
**「旧統一教会の政界汚染」**  
**国政報告：早稲田ゆき**（立憲民主党政調委員）  
**挨拶：はたの君枝**（日本共産党南関東比例予定候補）、  
**佐々木克己**（社会民主党神奈川県連合代表代行）、  
**三好りょう**（れいわ新選組神奈川2区予定候補）、  
**新社会党、緑の党、神奈川ネットワーク  
 運動**（要請中）、4区内の市民団体から。

**2024年6月25日（火）開場 18:00 開演 18:30～20:30**  
**会場 鎌倉生涯学習センターホール**（アクセス・地図裏面）  
**資料代 500円**  
**主催：神奈川4区市民連合**（問合せ：080-5035-7168、事務局 小堀 三好りょうさん）

図3 2024年の衆院選を勝利する4区市民集会

代表として登壇して頑張ろうコールに参加した。

選対は、立民党の飯野県議が代表で、そのもとに立民党の事務局があり、選対は立民党の党員・パートナーズ選対、労働者選対、市民選対から構成されることになった。市民選対としては、私が本部長、小堀さんが本部長代行、副本部長として野中さんと竹岡健治さんに入っていたが、ポスター貼り、チラシへの証紙貼り、政策パンフ配布、選挙ハガキ、電話かけ、鎌倉での出陣式から大船での最後の訴えまで各地で早稲田さんを応援するなど、各自できるだけのことを行なった。毎晩の選対会議は、由比ガ浜の狭い事務所で開催されるので、私は参加せず、地元の小堀さんに参加していただくことが多かった。

なお、私たちが選対に入ることについて事前に4区市民連合内で相談しなかったことについて問題とする意見もあったが、その後、市民連合の共通政策での確認書にサインいただき、共産党の鎌倉市委員会と栄区委員会として「選挙区では、『反自民』『反維新』の立場で投票を」との見解を公表し、側面から早稲田さんの応援をしていただいたと感じている。中央での共闘が破壊されるなか、共産党としてはめいっばいの「応援」ではあった。

私自身も自宅近くに300部ほど政策パンフを配布したが、立民党のものだけでなく共産党の政策ビラも一緒にポスティングした。共産党が15区で候補者を立てたことで、立てなかった4区への比例カーの配車が増え、私も何度も弁士を務めた。「比例は共産党」と声を限りに訴えたが、南関東では畑野さんの議席は回復できず、東京と東北で1議席ずつ失ったのは本当に残念であった。選挙区は早稲田さんと市民連合との関係を考えて共産党は独自候補を見送り、反自民、反維新の立場で自主投票となったと言って、側面から早稲田さんを応援した。

結果は図4に示したように、当初は自民候補の1本化でかなり厳しいとの予想に反して、早稲田さんが9.7万票(51%)を獲得し、4.4万票(23%)しか取れなかった山本氏を圧倒した。前回に比べて、早稲田さんは3万票も増やし、山本氏は3500票も減らしたのであった。山本氏は公開討論会にも参加できず、

第49回(2021年)衆院選 神奈川4区 得票結果	
早稲田夕季(立前)	96,874票(51.46%)
山本 朋広(自前)	44,016票(23.38%)
加藤 千華(維新)	34,625票(18.39%)
津野 照久(参新)	12,704票(6.74%)

図4 2024年の第50回衆議院選挙4区の結果

落選運動を恐れたのか選挙活動もほとんどできなかったようだ。浅尾氏も菅氏も地元の自民党組織も、山本氏の応援はあまりしなかったらしい。次の選挙では山本氏ではなく、別の候補者を立てるためなのであろうか。

なお、神奈川県内の小選挙区の投票率は54.53%で、前回2021年の56.29%を1.76ポイント下回った。20選挙区では4区の59.12%が最も高かったとのことで、投票率が高かったことが早稲田さんの圧勝を後押ししたともいえる。「青葉・緑市民連合かながわ8」の方々が行ったように、引き続き投票率を上げる運動を進めることも重要だ。

私は、市民と野党の共同は、切ない「片思い」から始まると感じている。こちらは相手(政党)の当選を願っても、その思いはなかなか相手には伝わらないのだ。しかし、何度も選挙を重ねるたびに、相手は次第に私たちの存在に気づき、評価しはじめるのだ。2017年は変な人たちとされていたのが、2021年では推薦書を求められるようになり、今回ははじめて選対にも入ったのであった。まだまだ相思相愛とはいかないが少しずつでも評価され、仲間に入れていただけるようになってきたと喜んでいる。それが証拠に、早稲田さんの政策には、超大企業や富裕層からの応分の税負担で財源捻出して、最低賃金2000円、大学の研究費倍増、大学までの教育費の無償化、原発や石炭火力から脱却し、再生エネルギーの地産地消、核兵器禁止条約の批准など、私たちの願いが取り入れられるようになっている。

全国では、自民が選挙区132、比例で59、計191(公示前の246から55減)、立民が選挙区104、比例44人、計148(公示前の98から50増)、維新が選挙区23、比例15、計38(公示前の44から

6減)、公明が選挙区4、比例20、計24(公示前の32から8減)、国民が選挙区11、比例17、計28(公示前の7から21増)、共産が選挙区1、比例7、計8(公示前の10から2減)、れいわが選挙区0、比例9、計9(公示前の3から6増)、参政が選挙区0、比例3、計3(公示前の1から2増)、保守が選挙区1、比例2、計3(公示前の0から3増)、社民が選挙区1、比例0、計1(公示前の1と変わらず)、無所属が選挙区で12(公示前の22から10減)。

自公が過半数の233を割る215になり、改憲勢力(自公維国)で330持っていたのが、今回の選挙で自公維国参保まで合わせても、発議に必要な3分の2の310を下回る287になったことは大きな成果だった。衆議院の憲法審査会の委員長に枝野幸男氏が就任したことにも期待したい。

市民連合は選挙後に「今、勝利に沸き立つ立憲野党も、けっして奢ることなく、今後の国会活動においては、むしろ現在政治への期待を失った多くの国民でさえもが微かな希望を見出しうるような政治の姿を実現してほしい。私たち市民連合は、選挙後も引き続き、戦争へと向かう国のゆくえを正すべく、各地域でたゆまぬ活動を展開し、市民の立場から政治に参加し、これを創り、またこれを監視する。来年の参議院選挙に向けても、立憲主義と平和主義にもとづくあらゆる政党や組織、政治家と連携し、『市民と野党との共闘』を引き続き追求したいと願う」という声明を発表している。

11月11日には特別国会で、総理大臣の選挙がおこなわれたが、野党は分断され、政権交代はならず、石破氏が再選され、第2次石破政権が発足した。野田氏は野党各党に決戦投票での野田氏への投票を依頼したが、応じたのは共産党だけで、維新も国民もれいわ新選組もそれぞれの代表の名前を書いて無効票となり、結果的に石破氏を当選させるのに協力している。

野田代表は選挙前には「共産党とは同じ政権を担うことはできない」と発言していたのに、その共産党だけが決戦投票で野田氏に投票したのは、野田氏は判断を誤ったとしかいいようがない。そもそも、これまで候補者を降ろして立民党の候補者の当選に尽力してきた共産党への非礼極まりない発言であった。同時に、選挙の直前になって、各地の市民の意見も聞かずに、突然多くの候補者を立てた共産党も票を減らし、多くの選挙区で10%に満たず、供託金を没収されている。ともに深く反省し、市民と野党の共闘を進めてほしいと心から願うものである。

## 市民の市長をつくる会第47回定期総会の報告

後藤仁敏

2024年10月3日、市民の市長をつくる会第47回定期総会が横浜市健康福祉センターで開催されました。議長に横浜地区労の藪治さんを選出した後、筆頭代表委員の私が以下のように挨拶しました。

皆さん、こんばんわ。本日は、総選挙が10月15日公示、10月27日投開票と迫るなか、市民の市長をつくる会の47回総会にご参加いただき、ありがとうございます。

2021年8月の市長選で山中市長が誕生してから、3年が過ぎました。この間、山中市長は自民党・公明党が圧倒的多数を占める市議会のもと、菅義偉元首相や自民党市議と深い関係をもつ平原副市長が留任し、山中市長を自らの陣営に引きずり込もうとしています。この間、山中市長をはさんで私たち市民と菅・自民党市議たちとの、綱引きが続いてきました。とくに菅元首相は、今度の自民党総裁選で、石破氏を推して副総裁に就任し、21年の横浜ショックで総裁を降りて以来の復権を果たしています。菅氏の押しで、神奈川から、小泉進次郎氏が自



図1 議案を提案する菅野隆雄事務局長

民党選対委員長になり、浅尾慶一郎、坂井学、三原じゅん子が入閣しました。ただ、菅氏については健康を不安視する情報もあります。

昨年4月の市議員選挙は山中与党を増やす絶好の機会でしたが、残念なことに自民党・公明党の議席は変わらず、山中与党の立憲民主党と日本共産党の議席が4議席ずつ減り、その減った分の8議席を維新が占めるという結果になりました。山中市長を当選させてカジノを撤回した横浜市で、なぜ、大阪でカジノを強行しようとしている維新が議席を増やすということが起こってしまったのか、私たちは深く反省しなければならないと思います。昨年の統一地方選で維新は躍進しましたが、大阪万博の失敗や兵庫県知事などの問題もあり、維新は今、衰退しています。

市民のための横浜市政を進める会では9月1日にシンポジウムを開き、岸本聡子杉並区長を誕生させた内田聖子さんのお話を聞きました。「区長は変わった次は議会だ」との合言葉のもと、党派を超えた合同街宣をして、自民党が7議席も減らし、立民が3議席増やして倍増し、共産党も議席を減らしませんでした。何より女性が議会で半数を占めたのです（横浜は増えたとはいえ25%）。区議会議長も自民党が出した男性候補を落選させ、女性の議長を誕生させました。私たちは杉並区民からしっかり学ぶ必要があります。

さて、山中市長も任期最後の4年目を迎え、公約実現もかなり進みました。カジノの撤回、12歳までの小児医療費ゼロ、出産費用ゼロ、中学校給食もデリバリー方式ながら実現に向かい、敬老パスも進んでいます。ただ、私どもの協定書にあった住民自治の促進についてはさほど進んでいません。来年の市長選に向けて、ハーバーリゾート協会の藤木さん、商工会議所、医師会などが11月25日に政治資金パーティーを開いて、後援会を立ち上げるとの報道もあります。自民党とも関係の深い団体で、今後も山中市長をめぐる私たちと自民党・菅氏たちとの綱引きがさらに激しくなるでしょう。

横浜では、カジノが撤回されてほっとしたのも束の間、昨年1月11日の日米の外交・防衛閣僚による安全保障協議会、ツー+ツーで、突然に横浜港のど真ん中の瑞穂ふ頭のノースドックに米陸軍の揚陸艇部隊が配備されると発表されました。今年2月8日には部隊の運用が始まり、7月31日には米陸軍司令部のあるキャンプ座間に揚陸艇部隊を指揮する新部隊が設置されました。ノースドックはオスプレイの搬入拠点となっており、墜落事故の危険も予想され、沖縄でのように米兵の性犯罪の増加も心配されます。それにより、敵基地出撃拠点が横浜港のど真ん中にできることで、戦争になったら最初に攻撃を受ける場所になってしまいました。こんな危険なことはありません。米軍部隊の配備撤回、早期全面返還の実現を求めます。

じつは、4月30日に市民のための市政を進める会世話人と山中市長との会食会があったのですが、その際に、私は「ノースドックへの揚陸艇部隊の配備で、オスプレイも搬出入され、港湾と市民への危険が高まっており、市長は港湾管理者として市民と港の安全に努めてほしい」と話しました。その効果かどうかは分かりませんが、6月18日に山中市長は防衛省の三宅伸吾政務官を訪ね、ノースドックの早期返還を要望しました。言うべきことはしっかり言うべきだと感じました。

今日は、来年に迫った市長選に向けて、これまでの活動を総括し、今後、市民の会はどう活動してゆくのかわかり議論し、活動方針を決めたいと思います。活発な議論をお願いします。

その後、菅野隆雄事務局長が議案を提案しました（図1, 2）。議案は、国政と横浜市政をめぐる情勢と闘い、2025年市長選勝利に向けた取り組みから構成されていました。資料として、山中市政の2年間と3年間の状況と課題が付けられていました。続いて、佐藤長世財政担当から決算の報告と予算の提案がありました。討論では、古谷靖彦市議団長から市会の報告、中学校給食の問題、関内地区の開発、横浜国際プールの廃止などについて、6人が発言しました。

議案、決算、予算が承認され、続いて神田雄一事務局次長から役員の提案があり、承認されました。最後に、矢後保次代表委員から「活発な討論ありがとうございました。今日の議論を各団体にもち返って広めてください。市長選まで1年を切りました。市民運動を盛りあげて頑張りましょう」との力強い閉会挨拶で幕を閉じました。



図2 提案を聞く参加者の皆さん

2024年11月1日、かながわ憲法フォーラムが「2024 憲法を考える 11.3 県民集会 学ぶ・働く・幸せに暮らす～日本国憲法」をかながわ県民センターホールで開催しました。

司会の挨拶の後、すぐに石川多加子氏（金沢大学准教授、憲法学）が「学ぶ・働く・幸せに暮らす～日本国憲法と生きる」について次のように講演しました（図1）。



図1 講演する石川多加子氏

私の住む石川県の能登半島では1月の地震と9月の水害で、自由権も社会権も侵害されている。憲法の歴史は人権保障の発展であり、大日本帝国憲法では自由権はあっても社会権はなく、社会権が明記されているのが現代憲法である日本国憲法の特徴だ。社会権を保障することで福祉国家がとなった。

「1. 学ぶ権利」については、23条の学問の自由、26条の教育を受ける権利がある。しかし、不登校が2022年で29万9048人（2023年は34万人）、自殺者は2023年に21,837人で、うち小中高生は513人もいる。歴史教科書も竹田恒泰氏による令和書籍の「国史教科書」が検定を合格している。大学の研究費や科研費は削減され、一方で軍事研究のための安全保障技術研究推進制度は増やされている。

「2. 働く権利（27条）」は勤労権（就労の機会保障、労働条件の法定、自動酷使の禁止）からなり、労働基本権（団結権、団体交渉権、団体行動権）は28条に書かれている。

「3. 幸せに暮らす権利」は、13条に幸福追求権、14条に法の下での平等、全文2段に平和的生存権が明記されている。

30年になる子どもの権利条約は4原則（生命、生存及び発達に対する権利、子どもの最善の利益、子どもの意見の尊重、差別の禁止）と4つの権利（生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利）からなる。

その後、高校生平和大使からの核廃絶を求める署名9万筆をスイスの国連機関に届けたとの報告があり、署名とカンパの訴えがあった。休憩後、質疑応答があり、最後に共同代表の中森圭子さんから挨拶があった。憲法について学ぶために、今日の県民集会が開かれたとのことであった。

講演者は参加者に対し、もっと敬意をもって話すことが必要ではないかと感じた。相手が学生でも、同じではないだろうか。相手は、参加費や授業料を払っていることを忘れてはならない。

## 国会議事堂の外装に使われているの瀬戸内の花崗岩

総選挙の結果、自民党政治に対する有権者の厳しい審判が下りました。日本国憲法第54条の規定により、総選挙が行われた日から30日以内に特別国会が召集され、内閣総理大臣の指名や、衆議院の議長・副議長の選出などが行われます。特別国会は11月11日に召集されることが決まりました。しばらく国会や政局に関する報道が続くでしょう。その際、必ずと言っていいほど国会議事



図 1：黒髪島と倉橋島の位置



図 2：参議院側から見た国会議事堂 (2023 年 9 月 3 日, 筆者撮影)

堂の映像・画像が用いられるでしょう。本稿では建物としての国会議事堂、とりわけ国会議事堂に用いられている石材について紹介します。

国会議事堂は、地上 3 階（ただし中央部は 4 階、中央棟は 9 階）・地下 1 階建てで、1920 年に着工し、1936 年に完成しました。堅牢な鉄骨鉄筋コンクリート造りですが、日本全国（建設当時植民地であった朝鮮半島を含む）から集められた最高品質の石材が化粧材として大量に使われています。外装に使われている花崗岩は 25,000 トン、内装に使われている石灰岩（石材名は大理石）は 2,800 トンにも上ります。これらの石材を全て積み上げると、富士山の約 30 倍もの高さになると言われています。

国会議事堂には、40 種類以上もの石材が使われており、それらの詳細については工藤晃ほか（1999）で紹介されています。本稿では外装の花崗岩にテーマを絞ります。国会議事堂は外観上、1 階部分に山口県周南市黒髪島（図 1）の花崗岩、2 階以上の高層部分に広島県呉市倉橋島（図 1）の花崗岩が用いられた二層構造となっています（図 2）。これらの瀬戸内の花崗岩は、日本列島がユーラシア大陸の一部だった 8000 万年前～9000 万年前（白亜紀後期）に、地下深くでケイ素を比較的多く含むマグマがゆっくり冷え固まってできた岩石です。大量に調達でき、色柄が均質であることが決め手となって、国会議事堂の外装の石材として採用されました。

黒髪島の花崗岩は黒雲母（黒色）、石英（透明感のある灰色）、アルカリ長石（白色）や斜長石（白色）の粗粒な結晶が目立つことが特徴で、遠くからは淡い灰色に見えます。国会議事堂の 1 階部分をやや暗い色調の帯で取り囲むことにより、建物に安定感を醸し出しています。一方、2 階以上の高層部分に用いられている倉橋島の花崗岩（「議院石」という石材名で有名）は、黒髪島の花崗岩と結晶の組み合わせは同じですが、アルカリ長石がピンク色であるため、石材全体も淡いピンク色となり、国会議事堂全体の色調を明るくしています。花崗岩のアルカリ長石がピンク色を呈する理由は、かつて地下にあった花崗岩体が熱水流体による変質作用を受け、アルカリ長石の結晶中に微小な赤鉄鉱や磁赤鉄鉱（赤色の原因）を生じたり、微小な空孔（白色の原因）を生じたためであることが、中野聰志・滋賀大学名誉教授らの最近の研究（Nakano et al., 2019）によって明らかにされています。

石材に注目すると、国会議事堂が今までとは少し違って見えるかもしれません。

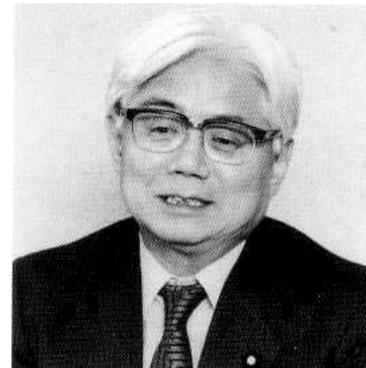
## 参考文献

工藤 晃ほか（1999）『新版 議事堂の石』（新日本出版社）

Nakano et al. (1999) Combined influences of iron-oxides and micropores on reddish coloration of alkali feldspars in granitic rocks（花崗岩赤色系アルカリ長石における色変化の複合要因）. 地質学雑誌, 125 巻, 759-773. <https://doi.org/10.5575/geosoc.2019.0025>

工藤 晃さんが、2024年9月20日に98歳で逝去されました。将来を嘱望されていた構造地質学者でありながら、やむなく経済学分野に進み、晩年に至るまで多くの業績を残したことを紹介し、こころより哀悼の意を表したいと思えます。

工藤さんは1926年2月10日に東京に生まれ、麻布中学校から、旧制第五高等学校を経て、東京大学理学部地質学科に進学、1947年に卒業しました。同級生に元京都大学教授の亀井節夫さんがいます。愛媛県宇和島地域で四万十層群を調査するなかで、地殻変動によってある地層から分離したブロックが他の地層のなかに入り込んでゆく「モザイク構造」を考えたことがあると述べており、現在の「付加体」に近い考えに及んでいたといえます。



地学団体研究会の会員として活躍するなかで、教室の民主化闘争によって教室をやめることになったと伺っています。私も院生時代に教室の学生の処分について教授を厳しく追及したことがあり、その後、教室を去った体験があります。

1958年に日本共産党の雑誌「前衛」編集部部員になり、その後、経済調査部部員などを勤めました。1971年に『転機に立つ日本経済』（新日本出版社）を出版して以来、経済学に関する多くの著書を次々に出版しています。1976年の衆院選に東京7区から立候補し、初当選しました。この時、井尻正二氏が中心になって全国の地質学者からカンパを集めました。以後1990年に落選するまで衆議院議員を4期務めました。

議員時代は日本共産党の経済政策委員会責任者や社会経済研究所副所長などを歴任しました。議員引退後は、日本共産党中央委員会付属社会科学研究所で経済研究に従事しました。とくに、1999年、前年10月に刊行した『現代帝国主義研究』（新日本出版社）が、「アメリカの軍事支配、多国籍企業の支配を最新の資料にもとづき解明」したことにより、第24回野呂栄太郎賞を受賞しています。

経済学は地質学とは懸け離れた学問であると思っている方も多いでしょう。しかし、その研究方法の基本は同じで、工藤さんは『現代帝国主義研究』を執筆した時、各国ごとの経済分析をすすめる時、沢を1本ずつ登りつめながら地質調査をする、ボーリングコアを1本ずつ比較しながら地下地質を研究するのと同じだと語ったことがありました。

驚くべきは、80歳を過ぎてからも、『経済学をいかに学ぶか』（新日本出版社、80歳）、『エコノミスト、歴史を読み解く』（新日本出版社、82歳）、『資本主義の変容と経済危機』（新日本出版社、83歳）、『資本主義の変容と経済危機―大銀行、多国籍企業は何をしたか』（新日本出版社、83歳）、『マルクス「資本論」とアリストテレス、ヘーゲル』（新日本出版社、85歳）、『今日の世界資本主義と「資本論」の視点』（本の泉社、88歳）、『マルクス「資本論」の視点で21世紀世界経済危機の深部を探る』（かもがわ出版、91歳、宮川彰責任編集）、『マルクス「資本論」の方法と大混迷の世界経済』（かもがわ出版、92歳）、『リーマン危機10年後の世界経済とアベノミクス』（本の泉社、93歳）と、研究成果を発表されてきたことです。

井尻正二氏は、70歳から86歳で亡くなるまでに、22冊の著書を残していることは驚異といえます。最後の著書『弁証法における「否定の否定の法則」について』（地団研ブックレット）は死の直前に出版されています。工藤さんの研究と執筆能力は井尻氏のそれを凌ぐのではないのでしょうか。

共著としては、上田耕一郎氏との『民主連合政府で日本はこうなる』（新日本出版社）、井尻正二氏との『社会科学と自然科学の方法』（大月書店）、大森昌衛・牛来正夫・中井均氏との『議事堂の石』（新日本出版社）、工藤静子氏との『歩きつづける』（光陽出版社）があります。とくに、

『議事堂の石』は地質学出身の国会議員でなければ気づかない、議事堂が日本の国産石材の博物館ともいうべき建築物であることを解説した貴重な業績です。

地学団体研究会では何度にもわたって理論の学習会の講師を務められ、私もお話を聞く機会がありました。1991年11月の講演は、『日本経済の現状と将来』（地団研ブックレットシリーズ③）として出版されています。また、1976年に3回にわたって開催された科学教育研究会の学習会「自然科学と資本論－自然科学と社会科学の方法の統一をめざして」にも参加することができました。

最後にお会いしたのは、井尻正二氏が1999年12月に亡くなった時に、井尻氏の自宅でした。工藤さんは同級生の亀井氏からの電話で井尻氏が亡くなったことを知り、井尻はがのさんからの電話を受けた私と出会ったのでした。

その後も、工藤さんの著書の紹介を「そくほう」に何度も書いたので、著書が出るたびに贈っていただけてきました。晩年は、私が資本論講座を受講した宮川彰氏が工藤さんを支えてこられたこともあり、不思議な縁を感じてきました。

地質学と経済学と分野は異なっても、工藤晃さんの生涯と業績から私たちが学ぶことは限りなく大きいのではないのでしょうか。

## 現在進行中の2つの苦難（つれあいの脳内出血・自宅を襲った土砂災害）

神奈川民間懇 北山宏之

8月18日(日) 夕方、私より3つ若い70歳のつれあいが自宅で急に倒れ救急車で伊勢原市内の東海大学病院へ搬送され、小脳出血と判断され即手術となる。

8月19日(月) 午前1時頃手術終了、医師から4週間程度の入院要、小脳出血だが言語・運動への障害の心配はなさそう、但し今後のリハビリは、めまいや吐き気に打ち勝って取り組むことが必要、退院後はリハビリ専門病院への転院となる、と告げられた。

手術直後は鼻や口など体のあちこち管だらけで意識はあるが会話は不可だった。「直るんかいな？」と息子はつぶやいていたが、その5日後の面会で何とか会話が可能になった。

8月30日(金)～8月31日(土) 台風10号の影響で伊勢原市三ノ宮の自宅周辺で、おそらく線状降水帯によると思われるバケツをひっくり返したような豪雨によって、自宅隣の農家の畑の斜面が2回にわたって崩壊し、31日の夕方には突如1階の窓ガラスをぶち破ってリビングにまで土石流と植木などが流れ込んで床上浸水となる。

1階のリビングでくつろいでいた私はその土石流に背後から襲われ、テーブルと椅子の間に挟まれ、2階の別室にいた息子が呼んでくれた救急車のレスキュー隊によって救出され、東海大学病院に搬送され、肋骨にヒビが入っているが、痛み止めの薬処方できず安静に、ということでその後息子と2人で、自宅は土砂災害の再発の恐れがあるため市の紹介で公民館やビジネスホテルなどで避難生活を現在も継続中。

もう少し土石流が強烈だったら、もっと大怪我が、生き埋めになっていたかも・・・。

今生きているのが不思議な位で、息子から命の恩人だぞ、と言われている。前日にも斜面が崩れ、雨が強まっている時に、「崩壊斜面を背にした1階ではなく、2階の斜面と反対側に避難する」という鉄則をポッーとして守らなかったことが悔やまれる。

その後、罹災証明を市に提出し、数日後に“半壊”と判定された。(半壊の場合市から70万円上限でリホーム費用が提供されることになっているが、いろいろ複雑な条件がつく。)リビング内の土石流と植木と窓ガラス片は、12日間放置されたままで、崩壊した畑の農家の方の尽力により、地元の建設会社によって9月12日までに約3日間で家の内外すべての搬出が終了した。床と壁の一

部が泥水に浸かったままだったので、現在室全体を約2ヶ月間乾燥させ、今年中にリホームを完了すべく、リホーム会社や損害保険会社と相談・交渉中。

9月11日(水) つれあいが東海大学病院からリハビリ専門の秦野市の鶴巻温泉病院に転院し、現在吐き気を克服しながらリハビリに取組中。転院と同時に介護保険を申請し、要介護4(排せつや身の回りの世話、立ち上がりなどがほとんどできない。歩行が自分でできない。問題行動や全般的な理解の低下が見られることがある。)と判定され、病院側から来年1月退院予定という大まかなスケジュールが10月末に示された。退院後の計画について、医師、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなどとの相談が目白押しといった現状だ。

今後について：来年からの介護生活をどうするのか、自宅以外の場所も含めて思案中。自宅はリホームするとはいえ、土石流崩壊の再来も懸念され、神奈川県の方で斜面にコンクリート擁壁の設置も検討されているが災害を完全に防ぐことは出来ない。行政の支援も必要だが、現場を見に来た県職員は、「予算が付けば1年後位にはできそう」とのんきなことを言っている。今回崩壊した斜面と自宅敷地内の一部は土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に指定され、現在の建築基準では斜面から一定の距離をとるか、擁壁がないと家の建築は許可されないとのことで、30数年前に家を建てた当時はいいかげんな基準だったことが今回の災害で暴き出された。自宅の売却の検討も始めた。

今回の我が家の被害を目の当たりにした近所の人「こんなところに住んでいていいのか？」との声も上がっている。公的な支援で安全なところへ集団移転ということも必要なのかも知れない。

## 本の紹介：『図説 歯からみた生物の進化』(後藤仁敏著、朝倉書店)

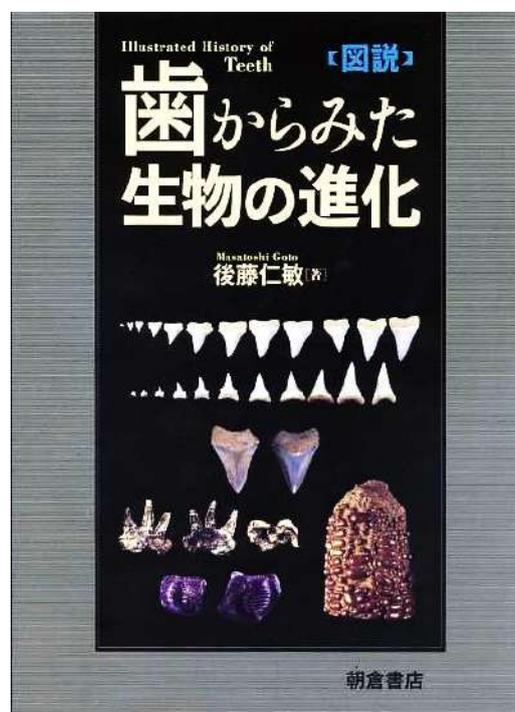
惣田昱夫

『歯から見た生物の進化』が朝倉書店からこの10月1日に出版された。著者は鶴見大学の名誉教授である後藤仁敏氏である。氏から最近「サメの歯化石の魅力と不思議」という講演をしていただいた。この時の自己紹介によると中学生時代から地学に興味を持たれたようで、高校、大学、院生、大学教師時代、今日まで65年の長きにわたり「サメの歯の進化を通して、生物進化の研究」をされてきた第一人者である。

生物の進化をたどるには、やはり化石に頼るのが順当だろうと思う。私の専門としている微生物も、最近1億年前の地層から生きて発見されている。

第1章のはじめに「歯の起源とは」と歯の字の由来が書かれている。歯は私の興味の対象としている「唾液」と関係が深いのだが。読みだして目を引かれたのが、「コノドント」である。これは何だと読んでいくと5.4億年前の地層から見つかり大きさは0.2~1mmの生物である。え！こんな小さな生物の歯が見つかるのか。さらに調べると日本にもコノドント館(みどり市大間々博物館)が群馬県桐生市の近くのみどり市にあることが分かった。

本書の3ページに詳しく書かれてある。この様にはじめから目を引く事項があるが書評ということと244ページにわたる専門書なので、その構成からみてみたい。



ただ、私はこの分野の専門家でないので間違いや不適切な内容を書くかもしれないことを始めにお断りしておきます。

本書の構成は8章で以下のような内容となっている。

### 1. 歯の起源—歯はサメのウロコから由来した

1.1 歯とは何か? 1.2 歯の進化の研究手法、1.3 歯の起源、1.4 歯の進化：サメの歯からヒトの歯まで

### 2. サメ類の歯—“ジョーズ”の歯の原始性と特殊性

2.1 魚類の進化と分類、2.2 サメ類の歯の形態・発生・構造、2.3 クラドウス段階の歯、2.4 ヒポドウス段階の歯、2.5 現代型段階の歯、2.6 正軟骨頭類と全頭類の歯

### 3. サカナ（硬骨魚類）の歯—歯の多様性の実験台

3.1 魚類の時代：デボン紀、3.2 軟骨魚類から硬骨魚類へ：線維結合から骨結合へ、3.3 多様な硬骨魚類の歯、3.4 条鰭類の進化：あごの前突と骨化の進行、3.5 肉鰭類の進化：エナメロイドからエナメル質へ

### 4. 両生類の歯から爬虫類の歯へ—歯の上陸史

4.1 両生類から爬虫類へ：水中卵から陸上卵へ、4.2 両生類と爬虫類の歯、4.3 爬虫類の適応放散：虫食から肉食、草食へ、4.4 恐竜から鳥類へ：歯の喪失

### 5. 爬虫類の歯から哺乳類の歯へ—捕食から咀嚼へ

5.1 爬虫類から哺乳類へ：変温から恒温へ、卵生から胎生へ、5.2 爬虫類の歯から哺乳類の歯へ：イッキ食いからモグモグ食いへ、5.3 哺乳類の進化と適応放散：虫食から肉食・草食へ

### 6. 食虫類の歯から霊長類の歯へ—虫食から果実食へ

6.1 食虫類から霊長類へ：樹上生活への適応、6.2 霊長類とは：手と眼と脳の発達、6.3 原猿類の歯：歯数の退化と鈍頭歯型の臼歯、6.4 真猿類の歯：広鼻猿類と狭鼻猿類、6.5 類人猿の歯：下顎大臼歯が二稜歯型から Y5 型へ

### 7. 人類の歯の進化と退化—猿人から新人まで

7.1 人類の歯の進化と人類の特徴、7.2 人類の進化：猿人・原人・旧人・新人、7.3 最古の人類：猿人はサルかヒトか、7.4 原人：人間性の起源—直立、恋から愛へ、道具の発達、7.5 旧人：脳の進化、傍系でも新人と混血、7.6 新人：自己家畜化による顎と歯の退化、7.7 日本人の起源：旧石器時代人、縄文人、弥生人、現代人

### 8. 人類の歯の未来—現代人から未来人へ

8.1 脊椎動物の歯と顎の進化と退化、8.2 絶滅哺乳類にみられた歯の個体変異、8.3 現代人の歯の個体変異と退化傾向、8.4 人類の歯の未来：現代人から未来人へ、8.5 歯の健康を大切に：人類の課題  
このほか各章に「コラム」が付いている。この本の特徴と考えるので以下に記す。

1章：コラム1 生命形態学を探究した三木成夫氏、コラム2 脊椎動物の起源、コラム3 歯はなぜ硬いのか? 第2章：コラム1 歯はなぜ生え変わるのか? コラム2 歯の反逆児、コラム3 オオハザメの顎と歯の復元、コラム4 「サメの歯化石研究会」と「サメは歯だ」の歌、第3章：コラム1 軟骨が先か、骨が先か? コラム2 脊椎動物の分岐的進化：海から陸へ、陸から海へ、第4章：コラム1 NHK 番組への取材協力、コラム2 「もう一つのジェラシックパーク」と「トライアシックパーク」、第5章：コラム1 恩師・野村松光氏の思い出、コラム2 歯の研究に大きな業績を残した井尻正二氏、コラム3 ゾウ類の臼歯の鑑別法、第6章：コラム1 ヒトの歯の数は何本か? 第7章：コラム1 石器の歴史、コラム2 「ピルトダウン人」のなぞ、第8章：コラム1 ヒトの歯はなぜ虫歯や歯周病になるのか? コラム2 未完の進化論の体系。と各分野にわたっている。このコラムの内容は大変興味深く面白い。コラムだけで編集しても歯に対する興味や進化について理解できる内容であり入門書としてもよいように思える。

もう一つの特徴は図や写真がきれいで美しいことである。p70 のコラム2 の脊椎動物の分岐的進化：海から陸へ、陸から海へ、では「脊椎動物の進化の本流は……海水中での生活から…陸上

生活への適応……。しかし、進化の過程で再び故郷の海にもどる仲間が出現している。哺乳類の鰭脚類や鯨類が、そうかそうだったのかと納得した次第である。その次のページの「脊椎動物の分岐的進化」の図には見入ってしまった。

本文では5章は興味深い。テーマは爬虫類の歯から哺乳類の歯へであるが、変温から恒温へ、卵生から胎生へその進化について書いてある。酸素を運ぶヘモグロビンの話が出ている。酸素は進化にとって大事であること、ここで葉緑素のクロロフィルの事を思い出した。前者はポリフィン核の中に鉄が、後者はマグネシウムが入っている。鉄が入ると結合しやすく、マグネシウムが入ると酸素を放出しやすくなる。

「イッキ食いからモグモグ食いへ」歯の特徴が述べられている。興味深い。図 5.15 がもう少し大きかったらなーとも思った。7章「人類の歯の進化と退化」も興味深い。人間の二本足歩行から最近の電子レンジを使った自己家畜化の話まで進化？した内容の話もある。

「歯の研究」から全地球の生物の進化を観れることを学ばされた。本書は専門書であるが、絵や図だけ眺めていても楽しくなる本である、機会があれば皆さんも、ぜひ手にして読んでほしい書籍である。テレ朝の「博士ちゃん」に出てくる子ども博士や化石に興味を持つ方にはぜひ読んでもらいたい1冊ですね。  
(元静岡理工科大学物質生命科学科教授)

『図説 歯からみた生物の進化』後藤仁敏著、朝倉書店、定価 5800 円+税、B5 判、244 頁、2024 年 10 月 1 日発行、ISBN : 978-4-254-17190-7 C3045)

=====  
**行事案内**

- ☆11月27日(水) 18:30～ 11.27 緊急集会 12月2日保険証廃止でどうなる？ 保険証残そう！マイナ保険証いらない！ 会場：かながわ県民センター1501 会議室（横浜駅西口徒歩5分） 発言：知念哲さん（神奈川県保険医協会）、原田富弘さん（共通番号いらないネット）、小賀坂徹さん（違憲訴訟神奈川弁護団）、宮崎俊郎さん（違憲訴訟神奈川原告団） 問合せ：なかもりけいこ (birdie@jcom.zaq.ne.jp)
- ☆11月28日(木) 15:00～18:00 『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会 会場：かながわ県民センター708号室（横浜駅西口徒歩5分） 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。問合せ：kura335200@star.ocn.ne.jp 参加費 300 円
- ☆11月28日(木) 18:00～ 憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝 場所：新宿駅 東南口 共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／9条改憲NO！全国市民アクション
- ☆11月29日(金) 18:30～20:30 第137期横浜労働学校・憲法 講師：太田伊早子（弁護士） 会場：横浜市健康福祉センター8-A（JR桜木町駅徒歩3分） 参加費無料 500 円 主催：実行委員会 問合せ：045-201-4002（県学習協）
- ☆11月29日(金)・12月6日(金) 各 19:00～ 京浜協同劇団第98回公演「黒と白のピエター種子を粉に挽いてはならない」 会場：スペース京浜（JR鹿島田駅徒歩15分） 一般 3500 円、学生・障害者 2000 円（当日券は各 500 円増） 問合せ：044-511-4951
- ☆11月30日(土) 全体会 10:30～12:30、分科会 13:30～16:00 神奈川県高等学校教職員組合第67次教育研究集会 全体会 記念講演 能條桃子さん（「NO YOUTH NO JAPAN」代表理事、「FIFTYS PROJECT」代表） 「若者の投票率が80%を超えるデンマークから学ぶ 私たちが生きたい社会のつくり方」 分科会：健康教育、後期中等教育問題、青年期の心、人権教育、図書館教育、日本語/国語教育、家庭科、平和教育、社会科 特別分科会：「次世代の100人」と語る！未来を創る市民（シチズンシップ）教育ラボ 会場：神奈川県立川崎高校（JR川崎線川崎新町駅徒歩3分、京急線八丁畷駅徒歩13分） 主催：神奈川県立高等学校教職員組合 問合せ：045-231-2479
- ☆11月30日(土) 11:00～14:00 秋の交流みかん狩り 場所：飯島みかん園（京急長沢駅徒歩10分） 中学生以上 1100 円（入園料と飲食代） 申込み・問合せ：090-2142-8677（豊さん）
- ☆11月30日(土)・12月1日(日)・12月7日(土)・12月8日(日) 各 11:00～、15:00～ 京浜協同劇団第98回公演「黒と白のピエター種子を粉に挽いてはならない」 会場：スペース京浜（JR鹿島田駅徒歩15分） 一般 3500 円、学生・障害者 2000 円（当日券は各 500 円増） 問合せ：044-511-4951
- ☆11月30日(土) 13:00～16:45 「どんな障がいがあっても安心して豊かに暮らせる地域を目指して」第6回集い 会場：ウィリング横浜 501・502 研修室（京急上大岡駅徒歩3分） お話：新井たかね（障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会会長）「障害のある人の自律した多様な暮らしと家族のノーマライゼーション」、田中智子（佛教大学社会福祉学部教授）「障害者・家族の地域生活の現状と課題～NHKとの共同調査を通じて明らかになったこと」 予約先着順 100 人 参加費 800 円 オンラインあり 主催：これからの県立施設を考える会 申込み：um250577-8745(at)tbz.t-com.ne.jp（加藤さん）
- ☆11月30日(土) 午後～12月1日(日) 午前 地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 京都 2024「さよな

- ら自民党政治の旗を高くかかげて 政治を大本から変える革新懇運動の出番」 会場：京都テルサ 1 日目 13:30～17:00 全体会 会場：京都テルサ西館 1 階のテルサホール 来賓挨拶、ミニ講演（開催地の市民運動から、直近の政治情勢、夢洲万博中止のたたかい、ジェンダー平等をめざして）、基調報告、全国各地草の根と各分野からの発言 2 日目 9:00～12:00 分散会・分科会 会場：京都テルサ内各会場 分散会（地域の共闘交流）①職場分科会、②青年交流会、③ジェンダー分科会、④共闘と革新懇運動分科会 主催：全国革新懇 協力：京都革新懇 申込・問合せ：全国革新懇（03-6447-4334）または都道府県革新懇
- ☆11 月 30 日（土）13:30～ **かながわく九条の会結成 16 周年のつどい** 会場：かなつくホール（JR 東神奈川駅東口徒歩 2 分） 参加費 1000 円（学生 500 円） 活動報告：かながわく九条の会、日吉台地下壕保存の会 音楽：ギター 篠原正志さん、ヴァイオリン 前田みどりさん 記念講演：武本匡弘さん（環境活動家、プロダイバー） 主催：かながわく九条の会 問合せ：090-7900-4934（前田さん）
- ☆11 月 30 日（土）14:00～ **山本大貴さん講演会「気候危機問題と人権」** 会場：厚木市依知南公民館 2 階会議室（厚木バスセンター10 番乗場から春日台団地行き・上三増行で下依知入口下車徒歩 5 分） 参加無料 主催：厚木市依知憲法九条の会 問合せ：090-3912-6797（大友）
- ☆11 月 30 日（土）15:00～16:30 **JCJ 神奈川支部 11 月例会 被爆国で原爆被災を語り継ぐ 2024 年ノーベル平和賞** 会場：神奈川県民センター1501 会議室（横浜駅西口徒歩 5 分） 参加費 500 円 講師：丸山進（神奈川県原爆被災者の会会長） 主催：日本ジャーナリスト会議（JCJ）神奈川支部 問合せ：080-8024-2417
- ☆11 月 30 日（土）15:10～ **爆音訴訟調査研究センター第 7 回通常総会記念講演 現地住民が問題解決できる社会を JWV の活動から** お話：今井高樹さん（JVC 日本ボランティアセンター代表） 参加無料 会場：大和市生涯学習センター610 大会議室（シリウス 6 階、大和駅徒歩 3 分） 主催：爆音訴訟調査研究センター 問合せ：046-240-1041
- ☆12 月 1 日（日）10:00～11:30 **「建国記念の日」に反対する 2.11 かながわ県民のつどい 2024 フィールドワーク** 雨天決行 集合：10:00 石川町駅中華街口改札（北口） 11:30 関内駅にて解散予定 テーマ「横浜の中のアジアを歩くー中華街の孫文などアジア活動家の足跡を歩きながら、当時の初期アジア主義と現代のあり方を考えるー」 講師：鈴木晶（横浜市立高校教員） 資料代 300 円 参加申込み：横浜市立高等学校教職員組合（浜高教）TEL 045-241-2744（平日 10～17 時）、FAX 045-241-2733、メール hkk@jt3.so-net.ne.jp 申込み締切り：11 月 22 日（金） フィールドワーク当日（12/1）の急な連絡は 大山（浜高教）080-8893-2206 荒天等で中止する場合は、当日浜高教ホームページで連絡します。「浜高教」で検索。
- ☆12 月 1 日（日）11:00～13:30 **沖縄に連帯する集いと小さな学びのマルシェ 基地のある街で何が起きている？～沖縄だけじゃない米兵による性暴力** 場所：桜木町駅前広場 マルシェ：11 時～13 時 30 分、リレートーク：11 時 30 分～12 時 30 分 主催：沖縄に連帯するつどい神奈川実行委員会 問合せ：kanagawa.action(at)gmail.com
- ☆12 月 1 日（日）13:30～16:00 **セミナー「AI 革命と日本経済・社会の課題」** 会場：かながわ労働プラザ第 3 会議室（JR 石川町駅徒歩 3 分） 講師：藤田実（桜美林大学教授） 参加費 800 円、学生・大学院生無料 主催：かながわ総合政策研究センター 問合せ：045-662-9839
- ☆12 月 2 日（月）13:30～ **後援名義不承認決定取消訴訟第 1 回口頭弁論** 場所：横浜地方裁判所 502 号法廷 傍聴希望者は、13 時に地裁前に集合をお願いします。報告集会：会場：開港記念会館 2 階 7 号室 内容：訴状、裁判の内容説明など 呼びかけ：九条の会・ちがさき 連絡先：0467-85-7182
- ☆12 月 4 日（水）11:00～ **住民訴訟旧横浜市庁舎売買/土地貸付契約取消を求める 口頭弁論** 場所：横浜地方裁判所 101 号法廷 傍聴に来てください 問合せ：070-8446-0454（横浜市民の財産を守る会、高田）
- ☆12 月 4 日（水）13:00～15:45 **栄区革新懇第 17 期総会** 会場：あーすぷらざ 1 階研修室 A（JR 本郷台駅徒歩 3 分） 講演：政村修さん（神奈川自治労連書記長、市民のための横浜市政を進める会事務局長）「山中市政の 3 年と市長選の課題（仮題）」 主催：栄区革新懇 問合せ：090-1258-4710（筒井さん）
- ☆12 月 6 日（金）18:00～19:00 **早稲田議員を祝う国政報告会** 会場：鎌倉生涯学習センター第 6 集会室（定員 52 名、鎌倉駅東口徒歩 3 分） 主催：神奈川 4 区市民連合 問合せ：080-5035-7168（小堀）
- ☆12 月 6 日（金）18:00～ **第 22 回 12 月集会 in 2024** 会場：全国教育文化会館エデュカス 7 階ホール（地下鉄麴町駅 5 番出口徒歩 2 分） 資料代 800 円、大学生・高校生か無料 第 1 部 東京の学校現場と運動からの報告 第 2 部 講演 渡辺治さん（一橋大学名誉教授、九条の会事務局）「激動する情勢のもと、憲法と政治はどうなるか」 主催：実行委員会 連絡先：河合（090-6137-0876）
- ☆12 月 6 日（金）19:30～ **映画『10 月 7 日からの Gaza』試写会** この度映画『10 月 7 日からの Gaza』の日本語字幕版を作成しました。これまでも試写会を開催してきましたが、以下の日程で試写会をオンラインで開催します。上映に先立って、主催者から簡単な解説、上映後にも質疑の時間を設定します。開催方法：オンライン（Jitsi-meet） 下記から申込みください。https://pilot.jca.apc.org/nextcloud/index.php/apps/forms/s/PY9S2x9KLqYPtDNz8kXrkPaN あるいは下記にメールで、名前と連絡先メールアドレスを記入して申込みください。toshi@jca.apc.org 予約に対する返信は行いません。日本語字幕版のホームページ https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/395 問合せ先：小倉利丸（JCA-NET）070-5553-5495
- ☆12 月 7 日（土）13:00～15:30 **神奈川自治体学校女性行政分科会「実現しよう！女性の権利を国際基準に」** 会場：青少年交流・活動支援スペース第 1 研修室（桜木町駅徒歩 3 分） 講師：山下泰子（国際女性の地位協会名誉会長） 資料代 700 円 主催：実行委員会 問合せ：080-1148-7334（小島さん）

- ☆12月7日(土) 13:00~17:00 **第70回子どもを守る文化会議 NO WAR! 21世紀を子どもの世紀に! 平和の世紀に!** 会場:東京労働会館7階ラパスホール(地下鉄新大塚駅徒歩4分、JR大塚駅徒歩6分) 基調講演 黒井秋夫さん(PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会)「父は笑わなかった 今も続く帰還した兵がもたらしたこと」 主催:実行委員会 連絡先:03-5319-4645
- ☆12月7日(土) 13:30~ **第31回アジア・フォーラム横浜証言集会 マラッカの街で日本軍が私たちの肉親を襲撃した! 1945年9月に起きたマレー半島の惨劇を知っていますか??** 会場:かながわ県民センター2階ホール(横浜駅西口徒歩5分) 証言者:呉麗娟(Goh Lay Kuan)さん 講演:林少彬(Lim Shao Bin)さん「9月5日事件の本質を被害者遺族、そして研究者として考える」 コメント:柏尾安希子さん(神奈川新聞記者)「ジャーナリストが見たマレー半島での日本の加害」 資料代1000円(学生以下無料) 問合せ:080-4536-3505(吉池さん)
- ☆12月7日(土) 13:00~15:30 **神奈川自治体学校女性行政分科会「実現しよう!女性の権利を国際基準に」** 会場:青少年交流・活動支援スペース第1研修室(桜木町駅徒歩3分) 講師:山下泰子(国際女性の地位教会名誉会長) 報告 意見交換 資料代700円 主催:実行委員会 問合せ:080-1148-7334(小島)
- ☆12月7日(土) 13:00~18:15 **日本科学者会議第25回総合学術研究集会 A1 平和問題分科会:戦争のない平和な時代を拓く** リモート開催 座長:亀山統一(沖縄支部) 13:00~ 座長からの問題提起、1.徳田博人(琉球大学):日本の軍事国家化と地方自治の危機ー辺野古裁判と改正地方自治を素材にしてー、2.前田定孝(三重支部):地方自治体と戦争遂行体制ー「辺野古後」の国地方関係ー、3.立石雅昭(新潟大学名誉教授):能登半島地震に学ぶー沖縄辺野古新基地の安全性ー、4.合田公計(大分支部):大分敷戸ミサイル弾薬庫問題~住宅地に軍事目標を置く政策とは何か~、質疑・討論、休憩、15:50~ 5.井原聡(東京支部):経済施策に名を借りたセキュリティクリアランス制度による軍事動員、6.豊島耕一(佐賀大学名誉教授):佐賀オスプレイ基地建設に反対する非暴力直接行動について、7.後藤仁敏(神奈川支部):横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備の撤回と早期全面返還を求める市民運動、8.大倉信彦(沖縄支部):専門学校講義の空き時間を使った立憲主義を主題とした主権者教育の試み、質疑・討論、座長によるまとめ 主催:日本科学者会議 第25回総合学術研究集会実行委員会 委員長 松田正久(愛知支部)、副委員長 畑明郎(研究企画部長、滋賀支部)、事務局長 前田定孝(三重支部) 問合せ:03-3812-1472, e-mail:25so-gaku@jsa.gr.jp, http://www.jsa.gr.jp
- ☆12月7日(土) 13:30~ **神奈川革新懇第45回総会** 会場:神商連会館ホール(東神奈川駅西口徒歩5分) 参加費500円 来賓・立憲野党挨拶、情勢、年間活動のまとめと方針、役員改選 役地域・職場・分野の発言 「ひらく未来4」冊子作成の提案 問合せ:080-5931-8179(齊田)
- ☆12月7日(土) 14:00~ **くらしの相談センター年末パーティー** 会場:東海道かわさき宿交流館4階(JR川崎駅徒歩10分) 参加費1500円(ワンドリンク、つまみ付) 問合せ:044-246-6823
- ☆12月8日(日) 9:30~12:00 **九条科学者の会19周年の集い:日本科学者会議第25回総合学術研究集会 A2 分科会:九条改憲の動向の多角的検討** 設置責任者:浜田盛久(九条科学者の会) 連絡先:m-office@9jokagaku.jp 座長:浜田盛久(九条科学者の会事務局) 座長開会挨拶、1.後藤仁敏(神奈川支部):草の根の運動で憲法改悪を許さなかった九条の会運動ー「九条科学者の会かながわ」の20年を中心にー、2.松井安俊(九条科学者の会事務局):九条科学者の会の軌跡ー戦争する国への道に抗う運動のなかでー、3.永山茂樹(東海大学):専守防衛論の限界論ー9条改憲との関係で、4.稲正樹(元国際基督教大学):憲法の軍縮平和主義の原点の発展的解釈、5.志田陽子(武蔵野美術大学・日本科学者会議共同代表):リスクと人格権ー安保法制違憲訴訟を題材にー、6.本田浩邦(獨協大学):アメリカ介入主義外交と日本、7.山根徹也(横浜市立大学):憲法改悪の動きと歴史学・歴史教育、総合討論、座長閉会挨拶 主催:日本科学者会議第25回総合学術研究集会実行委員会 委員長 松田正久(愛知支部)、副委員長 畑明郎(研究企画部長、滋賀支部)、事務局長 前田定孝(三重支部) 問合せ:03-3812-1472, e-mail:25so-gaku@jsa.gr.jp, http://www.jsa.gr.jp
- ☆12月8日(日) 14:00~ **原子力空母反対集会 横須賀に原子力空母って必要ですか** 場所:横須賀市ヴェルニー公園(京急線汐入駅またはJR横須賀駅) 終了後、デモ行進 主催:安保廃棄神奈川県統一促進会議(045-201-3684、原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会) 協賛:安保廃棄実行委員会
- ☆12月8日(日) 14:00~ **映画「アリランラプソディ」(金聖雄監督)上映会** 会場:かながわ県民センター・2階ホール(横浜駅西口徒歩5分) 鑑賞券:前売り1300円(事前登録)、当日1500円 主催:かながわ歴史教育を考える市民の会 事務局:090-8818-1431(高梨)
- ☆12月8日(日) 14:00~16:00 **第96回草の根歯科勉強会 憲法1条天皇条項を考えよう** 講師:堀内哲氏(自治体労働者・共和制研究) 会場:梨の木カフェ(10名まで、JR水道橋駅東口徒歩5分)とzoom開催 参加費無料(コーヒー代350円希望者のみ) 主催:草の根歯科研究会 問合せ:03-5340-9282, yayoiokada(at)pcsu.mfnet.ne.jp(岡田)
- ☆12月9日(月) 18:30~20:00 **市民共生会議2024 総会記念講演 在日外国人と国籍条項** 講師:田中宏(一橋大学名誉教授) 会場:かながわ労働プラザ・5・6・7会議室(石川町駅徒歩3分) 主催:外国人市民との共生社会をめざす神奈川連絡会議(通称 市民共生会議) 問合せ:045-231-2479(神奈川県高等学校教育会館内 市民共生会議 野中真弥子)
- ☆12月10日(火) 18:30~ **講演と対話の集い あなたは憲法を変えて“戦争のボタン”を押しますか?**

- 「自衛隊を国防軍に」「核兵器を米国と共有」の石破新首相で平和主義の危機！ 会場：多摩市民館 3 階 大会議室（小田急線向ヶ丘遊園駅北口徒歩 5 分） 講師：清水雅彦（日本体育大学体育学部教授、憲法学） 資料代 500 円 集いでの発言「私と憲法」（5 分）の希望者を募集します。連絡先：桜田信人（090-1844-8455）、中村登美子（080-4059-1056） ☆12 月 13 日（金）12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 桜木町駅付近 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（045-231-0103）
- ☆12 月 13 日（金）12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 桜木町駅付近 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（045-231-0103）
- ☆12 月 13 日（金）14:00～ **杉本正さんを偲ぶ追悼コンサート** 会場：旭区民文化センターサンハート音楽ホール（相鉄線二俣川駅、ジョイナステラス 3 の 5 階） 出演：泉恵子（ヴィオラ）、吉田真梨（ピアノ） チケット：前売 3000 円、当日 3500 円 予約・問合せ：泉恵子（090-9136-2667）
- ☆12 月 14 日（土）14:00～ **第 90 回平和憲法を守る神奈川県民集会 忘れてはいけない東アジアの「満州国」** 会場：かながわ県民センター711（横浜駅西口徒歩 5 分） 講師：石浜みかる（ノンフィクション作家） 資料代・会場費 500 円 主催：かながわ平和憲法を守る 問合せ：090-1105-6980
- ☆12 月 15 日（日）13:30～15:00 **介護保険のいまと未来を考えるつどい** 会場：建設プラザかながわ 4 階会議室（東神奈川駅徒歩 5 分） 学習講演：小島美里（NPO 法人暮らしネット・えん代表理事）「許せない！ 介護保険制度の『崩壊』」 資料代 500 円 問合せ：045-201-3900（県社保協）
- ☆12 月 15 日（日）13:30～16:30 **第 11 回「サイエンスカフェ千葉」** 日本科学者会議千葉支部主催（ハイブリッド） 会場：千葉市文化センター9 階、市民活動支援センター談話室（千葉市中央区中央 2-5-1、千葉中央ツインビル 2 号館） オンライン参加の場合は、URL：<https://meet.jit.si/JSACHibaStaffmeeting> 話題 1：「チバニアン」について（話題提供者）大久保紀雄氏並びに菅井 修氏 話題 2：好熱菌の有する特徴（話題提供者）河原林 裕氏
- ☆12 月 17 日（火）18:00～20:00 **日中 Cafe 中国について楽しく学び、自由におしゃべりしましょう** 会場：かながわ県民センター・ボランティアサロン（横浜駅西口徒歩 5 分） 主催：日中友好協会神奈川県連合会 問合せ：080-7937-0638（小出さん）
- ☆12 月 17 日（火）18:30～20:30 **2024 年度秋季講演会** 会場：早稲田大学（早稲田キャンパス）8 号館 B107 教室（南門の左側奥） 講師：岡真理氏（早稲田大学文学学術院教授、現代アラブ文学、ポストコロナル批評、パレスチナ問題） 講演の表題：「パレスチナ問題の現状と課題」（仮題） 主催：早稲田から広げる 9 条の会（早大教職員 9 条の会） 問合せ：waseda9jyo@googlegroups.com
- ☆12 月 18 日（水）18:00～20:30 **スペースたんぼぼ講座番号 865 新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」（ちよぼちよぼ市民によるちよぼちよぼ市民のためのゼミナール）再開第 3 回 シリーズ 戦後改革 7 回連続講座 第 1 回『敗戦と占領、民主化指令』** 講師：山田 朗さん（明治大学文学部教授、明治大学平和教育登戸研究所資料館館長） 最初の 30 分は主催者より簡単なお連絡・プレゼンを行います。会場：「スペースたんぼぼ」（高橋セーフビル 1F、JR 水道橋駅西口徒歩 5 分） 参加費（資料代含む）：800 円（学生 400 円） 問合せ：03-3238-9035
- ☆12 月 20 日（金）18:30～19:45 **第 42 回原発いらない！金曜行動首相官邸前**
- ☆12 月 21 日（土）13:30～ **沖縄に連帯する神奈川のつどい** 会場：かながわエルプラザホール（石川町駅中華街口徒歩 5 分） 資料代 900 円（学生無料） 報告：沖縄で国会で闘う 赤嶺政賢さん（衆議院議員）、神奈川の基地強化は 菅沼幹夫さん（神奈川県平和委員会） 琉球舞踊：児玉恵子さん、児玉優美さん 沖縄さんしん：久手堅玲奈さん、岡本優子さん 主催：神奈川革新懇、神奈川県平和委員会、安保廃棄統一促進会議、日中友好協会神奈川県連合会 問合せ：045-663-0041（日中友好協会神奈川県連合会）
- ☆12 月 22 日（日）11:00～11:30 **1 万人集会、11:30～パレード 戦争の準備と憲法改悪を進める政策に反対する大集会とパレード** 問合せ：090-1051-1812（岸さん）

#### JSA 神奈川支部幹事会・発送作業

日時：12 月 17 日（火）14 時 30 分～16 時、14 時 30 分から発送作業、15 時から幹事会の予定。  
 会場：かながわ総研事務所（横浜市中区不老町 1-6-9 第 1HB ビル 5 階、1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの 5 階、JR 関内駅西口徒歩 3 分）、Zoom で参加される方は、15 時に <https://www.zoom.us> にアクセスし、メニュー欄の「参加」ボタンをクリックして、ミーティング ID：895 9549 7503 パスコード：234074 を入力して下さい。  
 連絡先：飯岡ひろし（携帯：080-1987-0994、E-mail：[jsa.kanagawa\(at\)gmail.com](mailto:jsa.kanagawa(at)gmail.com)）

**次号の原稿の募集**：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切り、15 日ごろの発送です。  
 送り先：後藤仁敏（E-mail：[goto\(at\)kd5.so-net.ne.jp](mailto:goto(at)kd5.so-net.ne.jp)、Fax：045-894-1052）